

# ☆ 3年学年通信 ☆

枚方市立第三中学校  
2024年3月12日  
最終号

## ★ いよいよ卒業式、「旅立ちの日に」! ★

公立高校一般入試も終わりました。受験した人、お疲れさまでした。そして今日で最後の授業を終え、いよいよあとは卒業式を残すのみとなりました。

今日の3限目、学年の先生方がみんなに思いを語りました。みんなと関わってきた年数はそれぞれ違えど、先生達の熱い思い・メッセージを語られました。そんな思いをみんなの前で語れる場を持てた先生たちは幸せでした。なぜならみんなへの思いを持っている人は、他にもたくさんいるからです。他学年の先生方、転勤された先生方、送る会を開いてくれた後輩のみんな、保護者の方…3年の先生にも負けない思いを持つ人は、みんなと関わった人の数だけいます。そしてすべての人が共通した思いを持っています。それは「良い卒業式を行って立派に三中を巣立ち、それぞれの道で活躍してほしい」ということです。その思いに応え、実行できるのは君たちをおいて他にいません。その思いに対する返答の場、それが卒業式です。

ぜひ担任の呼名に「はい!」と大きな返事をしてください。その姿で、担任や保護者の方にこれまでの感謝の気持ちとともに、義務教育を終えるまでに成長した姿を見せてください。ぜひ「旅立ちの日に」の歌詞の意味を受け止め、心をこめて歌ってください。その歌声で、歌詞にあるような新しい道に進んでいく意気込みを示してください。

いま、別れのとき 飛び立とう 未来信じて  
弾む若い力信じて このひろい このひろい 大空に



## ★ 卒業式の最終確認 ★

- ① 9:15にそれぞれの教室で出席確認。ただし、9:00以前の登校は不可!
- ② 正しく制服を着用、頭髪などの身なりもきちんと。
- ③ 持ち物はありません。まして不要物を持ってこない。

## ★ 今後に関すること ★

- ① 3月19日(火)は公立一般選抜の合格発表です。進路通信や高校からのプリントをよく読んで、必要な手続きをしっかりと行ってください。

- ② 卒業しても3月31日までは三中生です。用事で来校するときは、必ず事前に学校に連絡をして、許可を得てから制服で登校すること。1・2年生が授業中のときは来校しない!
- ③ 4月以降に来校する場合も、必ず事前に学校に連絡をして、アポをとってから来校すること!

卒業式当日、体育館中に響き渡るような「旅立ちの日に」を期待しています!

## 保護者の皆様へ

お子様のご卒業、おめでとうございます。保護者の方におかれましては、この3年間、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

コロナで制限された中でスタートした中学校生活でしたが、徐々に制限が緩和され、新しい学校の形を模索する3年間でもありました。そのような中で、卒業生たちは新たな挑戦や冒険に果敢に挑み、今後の枚方三中の礎を築いてくれました。私たち教員は感謝の気持ちでいっぱいです。これも保護者の方のたくさんの支えや励ましがあってのことです。3年間本当にお世話になりました。本当にありがとうございました。

## 卒業のことば

日差しが日一日と温かさを増し、桜のつぼみも色づき始めた今日、私たちは枚方市立第三中学校を卒業します。

今から、三年前の春、私達は真新しい制服に身を包み、不安と期待に胸を膨らませ、この第三中学校に入学しました。

小学校とは違い、教科書も増えて、勉強はますます難しくなり、慣れない環境での毎日に戸惑うことも多くありました。しかし、新しくできた友達や、先輩や先生方の助けによって、私達は学校生活に慣れることができました。

一年生では、新型コロナウイルスの影響がまだまだ色濃く残る中での学校生活でした。最初の大きな行事である「宿泊学習」が延期になり、体育祭や文化祭も学年ごとに縮小して行うことになってしまいました。けれども中学校というものがどんなところでどう過ごすものかを知らない私達にとっては、全てが新鮮でした。新しくできた仲間と共に協力して一つひとつの行事に取り組み、コロナ禍の状況を乗り越えることができました。

二年生では、初めてできた後輩に戸惑いました。しかし、部活や委員会で関わっていくうちに、先輩としての自覚が芽生え、成長を感じるようになりました。

また、延期になっていた宿泊学習も無事に行えました。滋賀県の琵琶湖で、クラス皆で協力して、イカダを組み立て、息を合わせて漕ぐことで、クラスの絆を深く感じることができました。コロナウイルスによる制約も少しずつ緩和され、一年生の時とはまた違った関わりを、たくさん持つことができました。

三年生の修学旅行では、いつも学校では見ることのできない一面を見ることができ、クラスのみんなについてよく知る機会になりました。ラフティング、自然体験、農業体験など、さまざまな体験をすることができました。またクラスレクやクラスミーティングといったクラスでの活動も盛りだくさんでした。みんなと一緒に活動する中で、これまで見たことのない表情があり、知らなかったことを聞きました。修学旅行だからこそ発見できたみんなの一面に触れ、絆も一段と深まりました。

三年生の文化祭では、初めて三学年一緒に行うことができ、各クラス合唱に取り組みました。合唱を発表する機会は今までなかったので、練習の進め方などわからないところもたくさんありましたが、クラスのみんなと協力しながら本番を迎えることができました。どのクラスも歌声が一つにまとまっていて、より一体感が感じられた瞬間でした。何よりどのクラスも文化委員を中心として、自分たちで練習し、自分たちで合唱を仕上げるすることができたことに、大きな達成感を覚えました。

体育祭は全学年で終日行うことができました。クラス一丸となって協力し、結果に関係なくどのクラスにとっても良い思い出になりました。最後の体育祭では一・二年生の時とは比べものにならないほど各団が一致団結し、盛り上がった体育祭となりました。特に全員リレーの前には、各団長がマイクを持ってみんなを鼓舞し、みんながそれに応える様子は圧巻で、学校全体が一つにまとまった瞬間でした。

行事が終わってからは、本格的に進路を決める時期がやってきました。自分で情報を集め、考え、進路先を決めていく。言葉では簡単に表せますが、本当に難しく辛いものでした。それでも日々真剣に勉強に取り組む仲間の姿を励みに、保護者と話し合い、担任の先生と懇談して、進路に向き合ってこられました。ここでも仲間や支えてくださる方の存在の大きさを感じることができました。

私たちはこの三年間を通して大きく成長することができました。授業や部活動を通して指導して下さった先生方。私たちにとって学校生活で一番身近で頼りになる存在でした。進路を決める際、戸惑っていた私達を親身になって指導して下さり、本当にありがとうございました。在校生の皆さん、部活動や学校行事を通して、ともに時間を過ごすことができてうれしかったです。これからも三中で、先生方や仲間と共に、一日一日を大切に、充実した学校生活を送って下さい。そして、私たちにいつも寄り添い、見守ってくれたお父さんお母さん。たくさん迷惑をかけたか、心配させたり、時には反抗してしまうこともありましたが、今日まで育ててくれて本当にありがとうございました。これからもよろしくお祈りします。

私たちは、これから、木のように枝分かれしていく人生を自分で選択し、歩いていかなければなりません。第三中学校に入学したては不安に囲まれた状態でしたが、仲間と協力したり、自分の力で困難とぶつかり続けたりしたおかげで、今では殻を破り、立派に成長することができました。そして、今日、3月13日、197人の同級生から成る物語を終え、新たな冒険をスタートしていきます。この冒険は一人ひとり違う、オリジナルの冒険です。時にはどのように進めばいいのか迷うこともあるかもしれませんが、しかし、私達には道標があります。それは、この中学校で学んだことや得たこと全てです。この道標を頼りにして、自分達で選択した197通りの道を私たちは歩み続けます。

